

1 カンキョウ

2 基原の項を次のように改める。

3 本品はショウガ *Zingiber officinale* Roscoe
4 (*Zingiberaceae*)の根茎を湯通し又は蒸したものである。
5 本品は定量するとき、換算した生薬の乾燥物に対し、[6]
6 ーショーガオール0.10%以上を含む。

7 エキス含量の項の次に次を加える。

8 定量法 本品の粉末約1 gを精密に量り、共栓遠心沈殿管に入
9 れ、移動相30 mLを加え、20分間振り混ぜた後、遠心分離
10 し、上澄液を分取する。残留物に移動相30 mLを加え、更に
11 この操作を2回繰り返す。全抽出液を合わせ、移動相を加え
12 て正確に100 mLとし、試料溶液とする。別に定量用[6]ーシ
13 ョーガオール5 mgを精密に量り、移動相に溶かし、正確に
14 100 mLとし、標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液10
15 μL ずつを正確にとり、次の条件で液体クロマトグラフィー
16 〈2.01〉により試験を行い、それぞれの液の[6]ーショーガオ
17 ールのピーク面積 A_T 及び A_S を測定する。

18 $[\text{6}]$ ーショーガオールの量(mg) = $M_S \times A_T / A_S$

19 M_S : 定量用[6]ーショーガオールの秤取量(mg)

20 試験条件

21 検出器 : 紫外吸光度計(測定波長 : 225 nm)
22 カラム : 内径6 mm、長さ15 cmのステンレス管に5 μm
23 の液体クロマトグラフィー用オクタデシルシリル化シ
24 リカゲルを充填する。
25 カラム温度 : 40°C付近の一定温度
26 移動相 : アセトニトリル/水(3 : 2)
27 流量 : [6]ーショーガオールの保持時間が約14分になる
28 ように調整する。

29 システム適合性

30 システムの性能 : 標準溶液10 μL につき、上記の条件で
31 操作するとき、[6]ーショーガオールのピークの理論
32 段数及びシンメトリー係数は、それぞれ5000段以上、
33 1.5以下である。
34 システムの再現性 : 標準溶液10 μL につき、上記の条件
35 で試験を6回繰り返すとき、[6]ーショーガオールのピ
36 ーク面積の相対標準偏差は1.5%以下である。